

元気都市 四日市へ!!

第39号

森ともひろ通信



あなたは 4 2 6 4 7 0 人目の読者です。

44歳 四日市市長/公認会計士

■新たな四日市市へ!進む、『中心市街地再開発プロジェクト』

四日市市では、現在、2027年を目指し、近鉄四日市駅周辺からJR四日市駅までの中央通りを中心とした約1.6kmのエリアを対象に、『中心市街地再開発プロジェクト』を進めています。

このプロジェクトは、近鉄四日市駅周辺のバス乗り場の集約によって交通機能の強化を図る『バスタ四日市』、新たに整備を予定している『図書館』、それらと近鉄四日市駅を直結する『ペDESTリアンデッキ』の設置、更には、国道1号線からJR四日市駅までの中央通りにおいて民間の力を活かした人々の回遊性を高めた憩いの空間の創出、JR四日市駅付近の再開発等、様々な事業が並行して進んでいく大規模な事業となります。

【新図書館】スターアイランド跡地に建設予定の建物への整備で近鉄と合意

新たに市が計画する『新図書館』の立地場所について、これまで「四日市市」と「近鉄グループ」の間で継続的な協議を行ってきました。そして、この度、近鉄グループがスターアイランド跡地に建設を予定している建物に『新図書館』等を組み入れることについて合意に至り、8月12日付で「四日市市」、「近鉄グループホールディングス」、「近鉄不動産」の3者で確認書の締結を行いました。当確認書の締結により、『新図書館』の整備場所が正式に決定しました。

今後、フロア構成や基本設計の負担方法について、近鉄グループとの合意を経て基本設計に着手していきます。

今回の合意に至るまで相当の時間を要し、不安定な状況が続いていましたが、無事、確認書が締結出来き、大変嬉しく思っています。市民の皆さんが利用しやすく、皆さんの誇りとなる図書館を目指して取り組みを進めていきます。

【近鉄四日市駅直結の『円形デッキ』】主要なデザインが固まる

現在、中央通り再編関係者調整会議に設置したデザインワーキンググループにて近鉄四日市駅直結でバスタ四日市、新図書館をつなぐ『ペDESTリアンデッキ(円形デッキ)』の検討を進めています。

そして、この度、「円形デッキ」の主要なデザインが固まりました。「円形デッキ」は、中央通りの上空から海側に開けた眺望を活かして、東側に市民が憩える場所や待ち合わせ場所を整備します。そして、屋根に覆われた歩行スペースと緑化されたオープンスペースを共存させ、人と自然が出会う空間を目指します。また、屋根の柱のデザインは、四日市の伝統工芸品である「日永うちわ」の立体的な分岐構造をモチーフとした象徴的な形状としています。



四日市のシンボルとなる「円形デッキ」は、2025年頃の完成を目指しています。

【中央通り再編に向けた賑わい創出社会実験『はじまりのいち』を開催】 9月22日～10月16日の25日間! 63店舗出店、スケボーパーク、eスポーツ等の空間整備

9月22日(木)から10月16日(日)までの25日間(10～21時)、中央通り再編に向けた賑わい創出社会実験『はじまりのいち』を国道1号～三滝通り周辺の中央通り(歩道及び緑地帯)、四日市市役所東広場にて開催します。

今回の取り組みは、中央通りの国道1号からJR四日市駅間の整備に向け、実際の道路空間において多種多様な用途を試し、今後の道路空間の利用や運営のあり方を探り、実際の整備に反映することを目的としています。

■自動運転車両の走行実験も『はじまりのいち』を開催する25日間継続して実施

四日市市では、過去2回、中央通り〔近鉄四日市駅～JR四日市駅〕にて自動運転車両の走行実験を行ってきました。そして今回、『はじまりのいち』の期間を通し、3回目の走行実験を行います。

今回も将来の運行を見据え、バスタタイプの『アルマ(仏ナビヤ社)』の自動運転車両を用います。今回の実験は、25日間と長期間の運行となることから多くの方にご乗車頂く機会を設けられます。

『はじまりのいち』の会場にも停車しますので、お越しの際には、ぜひ、自動運転車両をご利用下さい。



県内初『認知症フレンドリー宣言』！10月から「認知症早期診断事業」を開始

四日市市は、8月23日に県内初となる『認知症フレンドリー宣言』を行いました。本市は、これまでも認知症に対する様々な取り組みを行ってききましたが、この宣言により、その姿勢を明確にし、更に踏み込んで、もう一段高いステージを目指していきます。加えて、これを機に多くの市民・関係機関・民間事業者の認知症への関心を高め、オール四日市の取り組みにつなげていきたいと思っております。

『認知症フレンドリー』とは、認知症であっても、日常生活や社会生活が不自由なく送れるような地域や社会を作っていくという考え方です。認知症の人の視点に立った仕組みやデザイン、サービスがあるまちにしていく考え方です。

そして、本市では新たに、こちらも県内初となる「認知症早期診断事業」を10月から開始します。市内在住の75歳以上の方を対象に、市役所、地区市民センター、在宅介護支援センター等で入手出来る自己チェックリストに基づき、セルフチェックをしてもらい、一定のラインを超えた方に対して、医療機関で無料の認知機能検査を受けて頂くことが出来るというものです。

認知症は、早期発見・早期対応がその後の進行を抑える上で非常に重要となります。その早期発見を促す仕組みを行政主導で構築していくのが当事業となります。今後も四日市市は認知症対策先進都市を目指し、取り組みを進めていきます。



【『四日市公害判決50年～過去をふり振り返り未来へつなぐ～』】

7月24日、四日市公害判決から50年の節目を迎えました。四日市市では、四日市公害の歴史と環境改善の歩みをふり振り返り、現在の環境問題についても学びを深めるための企画展『四日市公害判決50年展～過去をふり振り返り未来へつなぐ～』を7月1日から8月28日の52日間、そらんぼ四日市「四日市市立博物館」で開催しました。そして、現在、「四日市公害と環境未来館」の常設展の一部リニューアル工事を行っており、気候変動などの近年の環境問題を取り入れた展示に更新し、更に、四日市公害についての証言映像を追加しています。来年2月にリニューアルオープンとなります。

四日市公害の経験を真正面から受け止め、伝えていくことは、今の四日市を生きる私達の責務です。今の青い海、青い空があるのも先人達が一体となって環境改善に取り組んだ結果です。今後も、四日市市は環境先進都市として、心を一つに様々な環境問題に対し全力で取り組んでいきます。

【おいしい天然水『泗水の里』】3年連続モンドセレクション最高金賞受賞！

四日市市のおいしい天然水『泗水の里』が、国際品質評価機関であるモンドセレクションのビール、飲料水、ソフトドリンク部門で2022年の最高金賞を受賞しました。『泗水の里』は、これで出品を始めた2020年から3年連続で最高金賞を受賞したことになり、インターナショナル・ハイクオリティ・トロフィーを獲得しました。東海3県で初の快挙となります。

『泗水の里』は、本市の水道水に使われている尾平町の取水井戸から取水した地下水を加熱殺菌・ろ過したもので、100%地下水となっており、水のおいしさをより感じて頂けます。

四日市市の水道水の原水が世界で高く評価されたこと、大変誇りに思います。

■駅立ち732日到達!! 街頭演説も継続的に実施中。

平成22年9月21日から始めた朝の駅立ちは、令和4年9月2日の近鉄中川原駅で732日目を迎えました。7月に行われた参議院議員選挙期間を除き、新型コロナウイルスに負けることなく、駅立ち・街頭演説を継続しています。

駅立ち・街頭演説は政治家 森智広の活動の原点です。原点を忘れることなく、積極的に市民の皆さんに市政情報及び、自らのメッセージを届け、皆さんと共に四日市市政を進めていきます。

駅立ち実績 (2022年5月9日～)

5月9日 近鉄四日市駅西口	6月6日 近鉄四日市駅東口	7月25日 JR 四日市駅	8月22日 近鉄伊勢川島駅
5月23日 近鉄四日市駅北口	6月9日 近鉄富田駅西口	7月28日 近鉄伊勢松本駅	8月29日 近鉄川原町駅
5月26日 近鉄塩浜駅東口	6月17日 近鉄富田駅東口	8月1日 近鉄阿倉川駅	9月2日 近鉄中川原駅
5月30日 近鉄塩浜駅東口	7月13日 近鉄霞ヶ浦駅	8月9日 近鉄北楠駅	



森 智広 プロフィール

学 歴

平成6年 西陵中学校 卒業
平成9年 四日市南高校 卒業
平成13年 立命館大学 理工学部 卒業
平成23年 早稲田大学大学院公共経営研究科 修了

職 歴

平成15年 中央青山監査法人 入所
平成18年 あらた監査法人 入所
平成19年 公認会計士登録
平成21年 プライスウォーターハウスクーパース株式会社 事業再生/再編グループ 出向
平成22年 あらた監査法人 退所
平成23年 四日市市議会議員選挙にて、5,493票の負託を受けてトップ当選 [現役最年少]
平成25年 税理士登録
平成27年 四日市市議会議員選挙にて、5,852票の負託を受けてトップ当選
平成28年 四日市市長選挙にて、46,051票の負託を受けて当選
令和2年 57年振りの無投票で 四日市市長選挙2期目当選。



継続的に市政情報発信しています!
森ともひろブログ

森ともひろブログ 検索